

「地域と共にある学校づくり」つながりフォーラム

《日時》 平成29年2月12日(日) 12:15~16:00

《会場》 奈良県橿原文化会館 大ホール

《参加者》 小学校関係者、県立学校関係者、高校生ボランティア、一般参加者等 計386名

《主催者及び来賓》 奈良県教育委員会教育長 吉田 育弘
 橿原市教育委員会教育長 吉本 重男
 奈良県学校コミュニティ・アドバイザー 高木 和久
 早稲田大学文学学術院教授 増山 均
 奈良県PTA協議会副会長 前川 真吾
 奈良県小学校長会会長/奈良県中学校長会会長/奈良県高等学校長協会会長

《内容》

◆平成28年度「優れた『地域と共にある学校づくり』奈良県教育委員会教育長賞」表彰式、実践報告

- 水彩画や書道、三味線など公民館と連携した取組の展開による、子どもたちの学びの深まり。
- 「語り部童話会」、JA青年部との農業体験など地域の様々な団体が協働した教育活動の展開。



(平和小学校コミュニティ)

- 児童が発案した学校オリジナルキャラクター「五夢りん」が様々な取組に登場し、子どもたちの豊かな学びを応援。
- 地域と学校が双方向に関わり合い、地域に誇りを持つ子どもの育成。



(五條小学校コミュニティ協議会)

- 生徒が「地域の応援団」として祭りのボランティアを始め30を超える取組に参加し、地域活性化に貢献。
- 生徒が様々なボランティア活動に従事する中で地域に学び、地域の方が学校に愛着を持つような活動の推進。



(県立榛生昇陽高等学校)

◆県立学校における「地域と共にある学校づくり」ポスターセッション

県立学校における「地域と共にある学校づくり」の活性化を図るため、各校の取組の様子や成果、また、今後の課題などについてまとめ発表するポスターセッションを行った。



◆講評

早稲田大学文学学術院 教授 増山 均

- ・「学校が変われば地域が変わる。地域が変われば子どもが変わる。子どもが変われば未来が変わる。」「学校」「地域」「子ども」の好循環が進めば、子どもが成長し、学校が充実し、地域社会、ひいては日本社会がさらに発展し、未来は変わる。
- ・好循環のポイントは3つの「あ」。①「あるがまま」が認められること。②「あこがれ」を感じる友達、先輩、大人が周囲にいること。③「あて」にされるという実感があること。
- ・地域と学校の深い連携こそが、教育の本質的営みであり、アクティブ・ラーニングそのものを実現させる。

◆その他の実践発表等



心を一つに和太鼓演奏「鎮主の森」
(橿原市立新沢小学校)



川西子ども能楽メンバーによる舞囃子
(川西町立川西小学校)

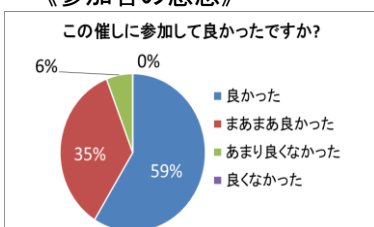


女声合唱「花は咲く」他
(畝傍高校音楽部)



畝傍高校ボランティア生徒による受付

《参加者の感想》



- ◆ 学校と地域が相互にコミュニケーションをとり、関係を深めることの意義を感じました。
- ◆ 小学校において、地域の伝統文化や行事を学び、発表できるまでになっていることに驚きました。
- ◆ 高校生が、地域に入り込み、しっかりとボランティア活動を行っていることに驚きました。
- ◆ 運営に高校生が関わり、積極的に活動している姿に感動しました。